

#### -4 前田接骨院に於ける白ウコンエキス治療試飲報告書

全 14 症例例 平成 30 年(2018 年)3 月～

##### 症例 1

女性・F・I さん 年齢・86 歳 後期高齢の老人

2 年前からの通院履歴がある患者さんです。

症状：両膝変形性関節症～加齢の為に膝関節周辺の筋群が委縮やまたは廃用性の為に筋力が低下しており、両下肢のしびれ有り、特に左側が強くて出ている。歩行障害著しく、杖を頼りによろやく歩行できる程度。

「白ウコンエキス」の摂取量は、一日 1 回、寝る前に 2 錠を、一か月飲んでいただきました。

「白ウコンエキス」を飲んで 1 か月目より膝痛を訴えるため診察したところ、大腿四頭筋群の内側広筋・外側広筋・大腿直筋の順番で筋力が回復し始めました。その為の膝痛でした。この患者さんは 1 年以上の通院歴があり対処療法で一進一退の状態が続いていたが、1 ヶ月で素晴らしい回復をみせております。驚きでございます。

足腰がしっかりと引き締まるためには、中心である骨盤がとても大切ですが、その骨盤を支えている大事な筋肉の一つが大腿四頭筋です。大腿四頭筋がしっかりと働くと膝がピンと伸びる。その為の膝痛でした。また運動器症候群：ロコモティブシンドロームで高齢者の転倒防止にも関与する大切な筋群です。それが回復することは通常の常識では考えられません。またまた驚きでございます。

患者さんは徐々に回復しまして、歩道橋の階段も登れるようになっております。そこでタクシー通院からバス通院に代わり経済的にも身体的にも大変楽になっております。

##### 症例 2

女性：H・A 年齢・48 歳 酷く痛い五十肩

6 年前からの通院履歴がある患者さんです。

症状：左肩関節・腰部痛が有り、左側の上肢の神経痛有り、6 年前からの通院歴がある患者さんです。

「白ウコンエキス」を一日 1 回、寝る前に 2 錠を、1 か月飲んでいただきました。

10 日目頃から改善の兆しが見えました。現在 2 カ月目で随分と諸症状が改善してきました。

##### 症例 3

女性・N・T 年齢 78 歳 後期高齢

4 年前からの通院歴がある患者さんです。

症状：両膝変形性関節症・両膝部・腰部痛の為に、ADL（日常生活動作）が制限されている。  
睡眠障害のため導入剤を服用しないと寝られない。

\*平成 30 年 4 月 28 日より当社の前田接骨院・長府院に於いて治験試飲を開始いたしました。「白ウコンエキス」の摂取量は、一日 1 回、寝る前に 2 錠を、一カ月飲んでいただきました。

すると両膝部・腰部痛はかなり改善されました。夜もよく眠れると言う事でした。しかしまたもや筋肉痛が右側下肢外側部に出始めました。診察すると前述しました大腿四頭筋群の内側広筋・外側広筋・中間広筋・大腿直筋の順番で筋力が回復し始めておりました。その為の筋肉痛でした。

#### 症例 4

女性・T・K 年齢・47 歳

4 年前からの通院履歴がある患者さんです。

症状：慢性関節リュウマチで、当時より膝部・腰部痛の為に、ADL（日常生活動作）が制限されている。

「白ウコンエキス」の摂取量は、一日 1 回、寝る前に 2 錠を、一カ月飲んでいただきました。当時より膝部・腰部痛の為に、ADL（日常生活動作）が制限されている症状や更に慢性的な肩こりや右肩関節の五十肩の症状も、またうつ病も改善されてきました。

昨年夏より大変な状態でしたが、2 カ月で随分と回復して来ました。

#### 症例 5

女性・K・O 年齢・47 歳

1 年前からの通院履歴がある患者さんです。

症状：右肩関節の五十肩症状が長く続き、なかなか深部の症状が取れないでいました。

「白ウコンエキス」の摂取量を一日 1 回、寝る前に 2 錠を。1 カ月飲んでいただきました。飲みだして 10 日位で深部症状の回旋健板が緩んできました。驚きです。

そして右肩関節の可動域も凄く改善されました。驚きです。

飲みだして 40 日位で肩だけではなく全身も大変良くなってきました。

1 年前からの通院履歴を考えると驚きです。また少しショックです。

## 症例 6

男性・K・Yさん 年齢・74歳 前期高齢

6年前からの通院履歴がある患者さんです。

症例：6年前に脳梗塞で倒れて、強い後遺症で介護を受けております。左側上肢・下肢に強い痙性麻痺があり、強い障害がある為に、リハビリに来院されました。

当時より膝痛・腰部痛の為に、ADL（日常生活動作）が制限されている。

「白ウコンエキス」の摂取量は、一日1回、寝る前に2錠を。一カ月飲んでいただきました。脳梗塞等で発生する左側上肢・および左側下肢に強い痙性麻痺による筋力抗進で歩行障害著明。強い痙性麻痺のため左側上肢の運動制限など左側上肢・および左側下肢に強い症状を呈しておりました。

8年間のリハビリで少しずつ回復をしてきましたが、今年の4月に仕事で東南アジアの旅行中、風呂場で転倒して左側上腕骨骨折・左大腿骨の頸部骨折のため人工関節を入れております。その後10月に来院されてリハビリを開始いたしました。

人工関節の術後のため、大腿四頭筋群は委縮しておりましたが、強い痙性麻痺が残っているために大腿四頭筋が突っ張った状態でした。

「白ウコンエキス」の摂取量を一日1回、寝る前に2錠を、一カ月飲んでいただきました。するとなんという事でしょうか、一カ月過ぎより大腿四頭筋群の痛みや違和感を訴えだしました。経過観察をしていたところ、大腿四頭筋群の大腿直筋に筋肉痛が異常緊張して常に等尺性収縮を強いられている状態です。その為に腱反射や筋反射が異常亢進するものです。

筋肉痛や筋群の回復が痙性麻痺に現れることは通常の常識では考えられない事です。また経過観察中ですので、推論の域は出ませんが、6年間のリハビリテーションの経過を考えますと驚きのほかないのです。

## 症例 7

女性・U・Y 年齢・88歳

25年前からの通院履歴がある患者さんです。

症状：当時より膝部・腰部痛の為に、ADL（日常生活動作）が制限されている。

膝部・腰部痛は農業従事者の為、変形がひどい状態です。左膝は特に酷く、屈曲制限が著しく、歩行制限もありました。

まだ元気なころから、腰や膝を痛めて通院しておりましたが、最近が高齢の為。その日その日の対処療法でしたので、大きな治療効果は期待できませんでした。

「白ウコンエキス」の摂取量を一日1回、寝る前に2錠を、また痛い時には昼間も2錠を1カ月飲んでいただきました。

まず前述のように、大腿四頭筋群に変化が出始めました。その後の著しい変化を見せまして膝の状態が見る見る良くなっていきました。

今は歩行順調で、もう少しで正座が出来そうです。ありがたいです。感謝1 感謝1

## 症例8

男性・K・Oさん 年齢70歳 前期高齢

2カ月前からの通院歴がある患者さんです。

症状：初診より両膝変形性関節症・両膝部痛の為に、ADL（日常生活動作）が制限されている。

膝部・腰部痛は一級建築士の為デスクワークでの仕事の為に変形がひどい状態です。特に左側は酷く、屈折制限が著しく、歩行制限もありました。

「白ウコンエキス」の摂取量は、一日1回、寝る前に2錠を、また痛い時に2錠を一カ月飲んでいただきました。

まず前述のように、大腿四頭筋群に変化が出始めました。その後著しい変化を見せまして膝の状態が見る見る良くなっていきました。

今は歩行順調で、正座も出来ます。

## 症例9

女性・T・Hさん 年齢72歳 前期高齢

2年前からの通院履歴がある患者さんです。

症状：腰部痛に右股関節痛の為、右外腕六筋群の廃用性萎縮で歩行困難、専門医にも見捨てられる。当院のデイサービス機能回復センターの利用者さんの為、あらゆる治療を試みましたが、一進一退の状態でした。歩行は車いすか歩行器でした。

「白ウコンエキス」の摂取量は、一日1回、寝る前に2錠を、また痛い時は昼間も2錠を一カ月飲んでいただきました。

まず前述のように、大腿四頭筋群に変化が出始めました。その後外腕六筋群も著しい変化を見せまして歩行の状態が見る見る良くなっていきました。

今は歩行順調で、喜んでおります。

\*この方のように、腰・股関節痛ですが、ほぼ筋肉系に「白ウコンエキス」が関与しているようです。

## 症例 1 0

女性・T・Hさん 年齢 75 歳 後期高齢

5 年前からの通院履歴がある患者さんです。

症例：初診より両膝変形性関節症・両膝部痛・腰部痛の為に、ADL（日常生活動作）が制限されている。

「白ウコンエキス」の摂取量は、一日 1 回、寝る前に 2 錠を、また痛い時には昼間も 2 錠を、1 カ月飲んでいただきました。

担当医より左膝関節の手術を勧められるほど状態は良くなかったが、当院の治療と「白ウコンエキス」の摂取により素晴らしい回復をみせました。

杖なしでは歩行出来ませんでしたが、昨日は息子さんの車で連れてきてもらっていますが、杖を忘れたそうです。杖なしで来られました。驚いております。

\*やはりこの方も、腰・膝関節痛ですが、ほぼ筋肉系に「白ウコンエキス」が関与しているようです。

## 症例 1 1

女性・S・Fさん 年齢 71 歳 前期高齢

3 年前からの通院履歴がある患者さんです。

症例：初診より両膝変形性関節症・両膝部痛・腰部痛の為に、ADL（日常生活動作）が制限されている。屈曲制限が著しい為、正座はできません。歩行痛が有ります。

「白ウコンエキス」の摂取を一日 1 回、「寝る前に 2 錠を、一カ月飲んでいただきました。するとなんという事でしょうか、1 カ月過ぎより大腿四頭筋群の痛みや違和感を訴えだしました。経過観察をしていたところ、大腿四頭筋群に筋肉痛が出現しておりました。

その後の筋肉痛も収まり、段々と膝の状態は回復して来ました。今は正座もできます。もちろんですが当院の治療と合わせてですが、思いもよらない効果が出ました。

## 症例 1 2

女性・S・Iさん 年齢 82 歳 後期高齢

5 年前からの通院履歴がある患者さんです。

症状：初診より両膝変形性関節症・両膝部痛・腰部痛の為に、ADL（日常生活動作）が制限されている。関節軟骨の増殖が酷くて変形の為、屈曲制限が著しく、正座はできません。歩行痛があります。

当院のデイサービス機能回復センターの利用者さん

先日の 8 月 20 日から「白ウコンエキス」の摂取量を一日 1 回、寝る前に 2 錠を飲んでいただきました。5 日目に御本人に聞き取りをしたところ、「フンともスンともないです。全然効果ないです」と言われましたので、少しムツと来ましたので「あなたには合わないかもしれませんね」と答えました。その後です。3 日後です。診察をしたところ、すごくいい状態になって良くなっておりました。ご本人はバツが悪そうに「変なこと言ってすみません」と恐縮しておりました。

今までの最短での効果確認でした。これは大変な事です。驚いております。

## 症例 1 3

女性・S・Sさん 年齢・85 歳 後期高齢

5 年前からの通院履歴がある患者さんです。

症状：初診より両膝変形性関節症・両膝部痛・腰部痛の為に、ADL（日常生活動作）が制限されている。屈曲制限が著しい為、正座はできません。歩行痛があります。また両手指が変形して屈伸は出来ませんでした。リュウマチではありません。

「白ウコンエキス」の摂取量は一日 1 回、寝る前に 2 錠を、また痛い時は昼間も 2 錠を一カ月飲んでいただきました。

二カ月でかなり改善されました。特に両手の指が普通に曲がる様になりました。膝も正座が出来るようになりました。

## 症例 1 4

男性・K・Yさん 年齢・74 歳 前期高齢

症例 6 の追跡調査

大腿四頭筋群の大腿直筋に筋肉痛が出現しておりました、通常の常識では考えられない事です。痙性麻痺は麻痺筋群が異常緊張して常に等尺性

収縮を強いられている状態です。その為に健反射や筋反射が異常亢進するものです。

筋肉痛や筋群の回復が痙性麻痺の麻痺筋群に現れることは通常の常識では考えられない事です。その筋肉痛が表れたため、左股関節の可能性が増しました。その為に人工骨頭が寛骨臼を麻痺させまして、寛骨臼に人工の受け皿を作る為の手術をする事となりました。只今入院中です。

\*麻痺筋が筋肉痛になることは通常考えられません。ビックリです。

まだ経過観察中ですので、推論の域は出ませんが、6年間リハビリテーションの経過を考えますと驚きのほかないのです。退院後様子を見まして御報告いたします。

\*上記の症例 12 件の状態が回復するなら、それ以下の症状の患者さんも期待できると喜んでおります。

前田先生の報告に対する駒井先生の見解 2018年6月28日

お問い合わせの結果に対する作用機序について小職の知る範囲の中でお答えいたしますが、筋力の回復等については全く専門外で、議論の余地がありませんことをご承知おきください。

白ウコンエキスは、白ウコンに特異的に含有されるラブダンと呼ばれるジテルペン（炭素20）を主成分としていますが、本成分はヒアルロン酸分解酵素を選択的に強く阻害することから、化粧品原料として活用されております。

一方で、人工的に関節炎を誘導したマウスに本成分を投与すると、確実に炎症が改善され、損傷を受けている関節部位の修復が顕微鏡的に観察されました。このことから、本成分は変形関節炎の改善効果を有することが明らかとなりましたが、この改善効果をグルコサミンや関連マトリックス成分の酵素的分解抑制だけで説明することが困難であると考え、若干の検討を行ったところ、本成分は脂質の代謝に深く関わっているリポキシゲナーゼ活性を強く阻害することを突き止めました。

この酵素は炎症はもとより酸化ストレス疾患として知られる動脈硬化、虚血再灌流障害、ガンなど比較的低酸素分圧下での病態の誘導・進展に関わっていることが知られておりますことから、本成分がリポキシゲナーゼの活性を阻害することによって誘導される酸素ラジカル（活性酸素）レベルを軽減し、その結果病態が改善されるのではないかと考えております。小職も前田先生が考えておられるアンチエイジングではないかと考えます。

以上

駒井功一郎